

3 交通事業会計

〔概要〕

平成 27 年度の交通事業の運営については、運行の安全性を確保するとともに、バス利用者の利便性とサービスの向上を図るため、車両及び車載設備等の更新、バス待合施設の整備を実施しました。

また、「宇部市の公共交通の総合的な方針」等に基づき、バス路線や運行形態の見直しに取り組みました。

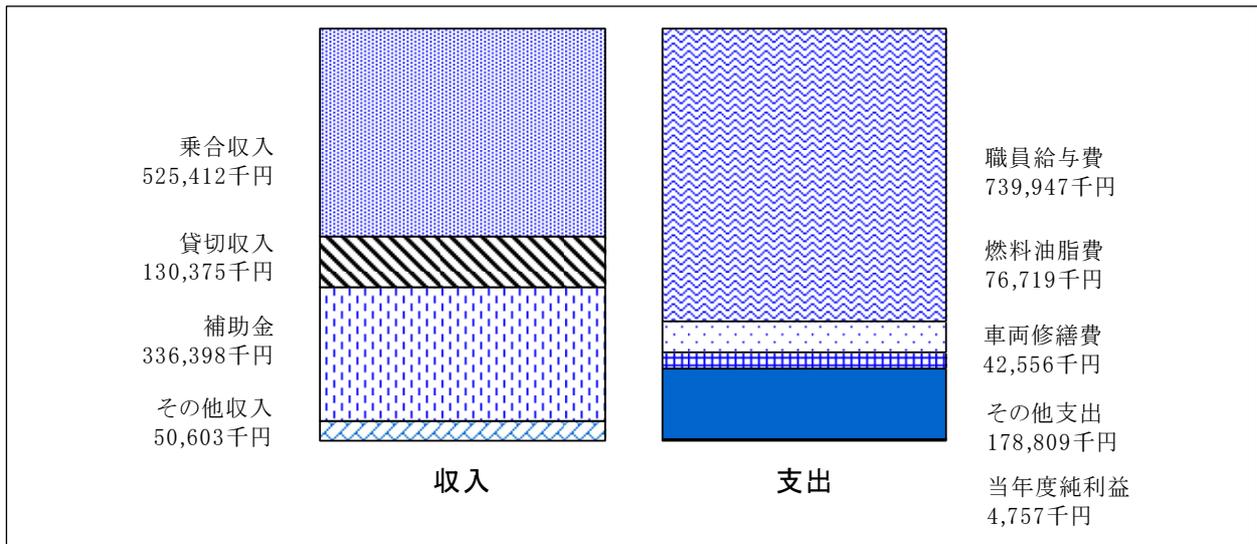
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 21,596 台（前年度比 101.6%）、走行キロ数は 3,333 千km（前年度比 100.2%）、輸送人員は 2,501 千人（前年度比 99.5%）となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 1,946 台（前年度比 96.8%）、走行キロ数は 293 千km（前年度比 84.5%）、輸送人員は 73 千人（前年度比 104.0%）となりました。

経営成績については、事業収益は 1,042,788 千円に、事業費用は 1,038,031 千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は 4,757 千円に、また、当年度未処分利益剰余金は 64,131 千円となりました。

資本的収支については、収入は、企業債等で 98,177 千円、支出は、中型路線バス 3 台、リフト付き大型貸切バス 1 台及び中型貸切バス 1 台の新車購入費用及び企業債償還金等で 185,160 千円となり、差引不足額 86,983 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 10,487 千円及び過年度分損益勘定留保資金 76,496 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

